

まちづくりの分野の「目指すまちの姿」を考えるため、テーマに沿ってアイデアを出し合いました！



令和4年11月9日（水）18：00～19：30
花巻市定住交流センター | なはんプラザ

花巻市では現在、新たな「まちづくり総合計画」の策定に向けて、市民の皆さんと一緒に、市が目指すべき理想の姿や、そのために必要な取り組みについて話し合いをするためのワークショップを開催しています。

幅広い世代の方が参加する【一般部門】では、全7回のうち、第5回を迎えました。39人の参加者のうち、30人の方にご出席いただきました。

今回は、分野ごとの「目指す将来のまちの姿」について、それぞれの分野で設定したテーマに沿って、課題は何か、その解決のためにそれぞれの立場で何ができるのか、考えを共有しました。

新しい総合計画に掲げるまちづくりの分野（6つの柱）

I しごと

II 暮らし

III 健康・いのち

IV 子育て・人づくり

V 地域づくり

VI 行政経営

※事前に関心の高いものについてアンケートを取り、分野ごとに7つのグループを作っています。（「子育て・人づくり」分野は2グループ）

第5回ワークショップの流れ



前回の検討内容を振り返りながら、グループごとに「掘り下げたいテーマ」について改めて確認しました。

各グループで設定したテーマについて「課題に感じていること・解決したいこと」を共有しました。また、それらを解決するための取り組みのアイデアを「市民」「地域／民間」「行政」の視点から出し合いました。

次回もこの議論を継続し、課題解決に向けた取り組みで見えてくる「目指すまちの姿」を分野ごとにまとめていきます。今回は検討の進み具合、出てきた意見やアイデアを全体で共有しました。

各分野のグループで検討した内容

「しごと」グループ

- 「観光で楽しめるしかけづくり」について、花巻の特徴であるワイン、お酒、温泉がコラボレーションしたら活性化するのはないか。
- そのために、関係企業同士が積極的にコラボするとともに、市民は催しやイベントがあればその場に来て、口コミを広める。行政はつなぐための声掛け、機会づくりを進める必要がある。



- 「車がなくても快適な生活」について、公共交通を充実させることも大事だが、モノやサービスが届くことで解決することもたくさんある。
- 「情報技術の活用」について、まずは個人が持てる端末があるとよい。テレビは各家庭にあるので、活用できないか。将来的には技術革新で、雪かきなどの個人の負担を減らしたい。

「暮らし」グループ

「健康・いのち」グループ

- 「地域共生社会」について、地域のつながりが薄く、いざという時に助け合えない課題がある。地域の行事や活動への参加の声掛けが大事。
- 「安心して受けられる医療・介護」について、自分の状態が分かっていると、スムーズな処置につながる。そのために、身近な地域で健康について相談できる人がいるとよい。



- 「スポーツ・文化を通じた人づくり・まちづくり」について、伝統を残すために何が大事かを知ることが必要。市民の各種イベントへの参加や、外部を含めた指導者の確保も必要になる。設備の充実のための予算を確保したい。
- 「親も子どもが家庭教育」について、まずは家庭教育が大事。読書をするきっかけづくりや、地域の催し・セミナーの情報発信が必要。

「子育て・人づくり①」グループ

「子育て・人づくり②」グループ

- 「若い女性が住みやすいまちづくり」について、古い常識や価値観を変える必要がある。家事分担など、まずは市民の意識改革を。女性の管理職の目標を立てたり、若い女性の収支を支える企業努力も必要。
- 「自然と地域で子どもを育む環境づくり」について、長期休みに世代間交流やキャンプ、グランピングなど自然の楽しさを知る機会を増やしたい。



- 「人と人とのつながりをつくるしくみづくり」について、人をつなぐ機会づくり、参加者の固定化の解消のために、情報共有の仕組みづくりや、集合住宅の人を巻き込むなどターゲットを絞ったアプローチが必要。
- 「個性を尊重した共生とコミュニティのファシリテーター育成」に向けて、やりたい人をどう見つけ、共通の目標をどう設定するかを引き続き考える。必要なスキルやカリキュラム検討や地域課題の相談窓口をつくる。

「地域づくり」グループ

「行政経営」グループ

- 「住民への窓口サービスの向上」について、オンライン対応やコンシェルジュ、対応窓口にいけない人の対応があるとよい。
- 「職員異動時の引き継ぎ」について、残したい資料や情報を保存・共有する仕組みが必要。行事の引き継ぎも資料があるとよい。



次回ワークショップに向けて

今回のワークショップでは、グループごとに掘り下げたいテーマを設定し、課題や解決に向けた取り組みなどについて話し合いました。取り組みについては行政の役割だけでなく、自分たち一人ひとりができることや、地域や企業などと協力してできることなど、様々な視点からアイデアが集まりました。

次回もテーマに沿った意見交換を継続して行い、分野ごとの「目指す将来のまちの姿」について考えをまとめていきます。